

「第4次美馬市環境基本計画」の策定にあたって



近年、世界的な平均気温の上昇や豪雨、人間活動による森林伐採等が引き起こす生物多様性の損失など、地球温暖化に起因する気候変動の影響が、最も重要な環境問題として取り上げられています。

国では、SDGsをはじめ、第5次循環型社会形成推進基本計画や、生物多様性国家戦略2023-2030等を策定し、気候変動対策や環境汚染防止等の方針を示したほか、温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「2050年（令和32年）カーボンニュートラル」を宣言し、GX実現に向けて官民を挙げた取組を推進しています。

また一方では、南海トラフ地震における今後30年以内の発生確率は80パーセントと言われており、2024年（令和6年）8月に宮崎県沖で発生した地震では、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されるなど、地震災害に対する備えも喫緊の課題となっており、大規模災害により発生する大量の廃棄物処理の課題に対しても早急な解決に迫られています。

このような情勢の中、本市においては、これまで地球温暖化対策実行計画（事務事業編）により、公的機関として温室効果ガスの削減に取り組んでまいりましたが、令和7年度には地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定することにより、市民の皆さま、事業者、行政が一体となって市内の温室効果ガスの削減に取り組むこととし、また、大規模災害時における廃棄物処理の課題に対しても、国、県の動向を踏まえて処理計画の見直しをかけるなどの取組を進めております。

本計画は、50年先の環境の在り方を見据えて策定されたものとなっておりますが、市内に存在している豊かで美しい自然環境を確実に将来へ引き継いでいくため、近年の世界規模で取り組むべき課題を踏まえ、この度、第4次計画として見直しを図りました。

本市の将来像である「美しく駆ける 活躍都市 美馬」の実現に向けて、本市が一体となって環境保全に取り組んでいきたいと考えておりますので、皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この第4次計画の策定にあたり、ご審議いただきました「美馬市環境推進市民会議」の委員の皆様に心からお礼を申し上げます。

令和7年3月 美馬市長 加美 一成